



宮崎県立宮崎西高等学校

朝陽会会報

第 18 号

発行所
宮崎西高校同窓会事務局
〒880-0951
宮崎市大塚町柳ヶ迫3975番地2
TEL (0985) 48-1021

ごあいさつ



朝陽会会長

一 木 尚 敏

(二期生)

朝陽会会員の皆様におかれましては、ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会活動にご協力をいただきまして誠にありがとうございます。本会報は毎年八月に発行しておりますが、今回より新会員入会時にあわせて2月に発行することになりました。これからは会報の内容の充実をはかり、ホームページからのPDFダウンロードにより、多くの会員の皆様に会報をお届けし、様々な情報発信も行ってみたいと思います。これらのホームページチェックもどうぞよろしくお願い致します。

さて、本会員数も一万六千

名以上とたいへん大きくなり、日本各地はもとより海外でも多数の方が活躍されております。支部の活動もさかんで、関東、関西地区も多いに盛り上がっており、今後の益々の発展を期待しております。同窓会は、同期生の横の繋がりはもちろんですが、学年をこえた縦の繋がりが大事です。色々なところに頼りになる先輩や後輩がいたり、人の輪はほんとうに大切だと思います。東日本大震災等の自然の猛威を目の当たりにし、人々の絆を実感させられました。私たち朝陽会会員も絆の輪を更に広げていきたいと思っております。

母校、西高は文武両道を

かかげ、「立て・飛べ・行け」の精神のもと、生徒一人一人が実践してきました。その甲斐あって、このたび、野球部が第八十四回選抜高校野球大会への出場という快挙を成し遂げ、在校生、先生方はもちろん、私たち卒業生も大変うれしく誇りに思っています。甲子園では平常心を忘れずに、思い切り悔いのないプレーをし、もらいたいと思っております。全国の朝陽会会員一同、心より応援申し上げます。また国際化に対応できる人材育成のため短期海外留学等の構想もあるようで、更なる発展を期待しております。来年の十一月には西高創立四十周年という節目を迎えます。朝陽会も学校の周年事業に協力をし、側面から応援していきたいと思っております。

最後にになりましたが、今後の会員皆様方のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



P T A 会長

瀬 口 繕 嶺

朝陽会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。日頃よりPTA活動につきましても、並々ならぬご理解とお力添えを賜り、毎年恒例となつております。「西高×××講座」におきましては、数多くの西高卒業生の皆様に講師を務めて頂くなど、惜しみないご協力に心より感謝申し上げます。私がPTA会長を仰せつかった一年が経とうとしておりますが、就任当初は、今更に皆様方が築き上げて来られた西高の

伝統を汚さず、崩さず、次期へ渡すことだけを考慮しては、場合によつてはメスを入れるべき所はメスを入れ、守るべき所はきちんと守り、加えるべき所は加えていく。当たり前のようであつても、とても難しく勇気がいることですが、益々の西高発展の為、そして、供達の夢の実現へ向け、邁進して参りたいと考えております。また、本校生においては、色々な活動において頑張る、数多くの入賞を果たして、甲子園出場においては初の遂げ、文武両道の宮崎西

高の名前をなほ一層高めてくれることには、今更なる活躍を大いに期待したいです。子供達の今後の成長も引き続き、後輩も君へ暖かいエールを送りたいと思います。最後にありますが、今後PTA会長として誇りにお持ち、朝陽会の皆様に、お力を頂きながら、本校の益々の発展の為、そして、本校生の夢の実現の為、なにより、一層努力する所存です。どうか今後とも皆様方の更なるご支援ご協力を宜しくお願ひ申し上げます。



校長

児 玉 淳 郎

朝陽会会報第十八号の発行にあたり、御挨拶を申し上げます。この度、第三十六回卒業生三九一名を新規同窓会員として先輩諸氏に迎えていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。宮崎を遠く離れることを見聞し、なかなか少ないかも知れませんが、宮崎に住んでいられる私たちが、宮崎西高校と西高附属中学校に関する報道を見ない日がないくらいと言つて過言ではないです。校生の活躍が話題に上っています。文化的なものには優勝や最優秀賞等はひっきりなしです。小村寿太郎

侯顕彰弁論大会では、本校生が二年連続最優秀賞に輝きました。福島県で開催された全国高等学校総合文化祭の書道部門では、本校初となる奨励賞を獲得しました。生物オリンピックでは、一人の生徒が最終選考に残っています。また、科学の甲子園では、県予選の三位までを本校が独占し、優勝チームが兵庫県での全国大会に出場します。体育的なものでは、新人戦で久しぶりの登山部が優勝しています。また、多くの部が練習時間や場所の制約がある中で、二回戦、三回戦と勝ち上がった行っています。そして、今回の野球部の活躍です。

昨春の選抜高校野球大会の開会式で、本校の女子生徒が国歌を独唱し、全国の皆さんに感動を与えたことは記憶に新しいところですが、そのとき、今年の春の選抜に本校野球部が出場するということが誰が予想したのでしょうか。それだけに、二十一世紀枠の九州地区推薦を受けてから期待の声を卒業生やその保護者の中で高まってきていました。が、何と、実力が評価される一般枠での出場となりました。応援をよろしくお願ひいたします。この度の甲子園出場が、同窓会員相互の新たな絆を創り出し、同窓会発展の弾み車になることを祈念します。そして、来年は創立四十周年を迎え、創立記念行事を予定していますので、同窓会の皆様の御協力を御願ひして御挨拶とさせていただきます。



